公益社団法人茨城県鍼灸マッサージ師会

平成２８年度第３回理事会議事録

　日時　　平成２８年１２月４日　１０時～１４時３０分

　会場　　県立盲学校会議室

　出席者

　理事　９名中８名　　仲澤進　　伊藤徳也　　石川雅之

　　　　　　　　　　　村上守　　奈良隆夫　　米澤雅子（午後のみ）

　　　　　　　　　　　菊池健太郎　　赤坂昇一

　監事　３名中１名　　加倉井弘

　議長　　村上守

　議事録署名人　　理事　仲澤進　　監事　加倉井弘

　　　　議題１．　第８回鍼灸マッサージ祭りの反省について

　村上鍼灸マッサージ祭り実行委員長より、視覚障碍の新入会員が一人も施術できなかった人がいる件について、一組目で施術させるなどの考慮をすれば対応できるとの発言があった。

奈良保険部長より、ＮＨＫに取材依頼をするなど、告知の幅をもう少し広げてもよいのではないかとの発言があった。

　伊藤組織強化部長より、キャッチコピーを作るなどして、記事に書きたくなるような情報をプレスリリースなどで出していく必要があるとの発言があった。

　　　　議題２．　第６９回関東甲越地区協議会大会の反省・残務処理・決算等について

　石川財務部長より、第６９回関東甲越地区協議会大会の決算報告があった。事務員の人件費、事務用消耗品購入費を大会運営費に当てることで、最終的にマイナス１５８６０円ていどの決算となった。

　決算については満場一致で承認された。

　奈良保険部長より、次回開催の参考にするためにも、準備内容、反省等の記録を詳細に残すべきとの発言があった。

　伊藤組織強化部長より、県外からの参加者から、土浦駅でのバスへの誘導がわかりにくかったとの指摘があったとの発言があった。

　伊藤組織強化部長より、関東大会に、協同組合が協賛したという内容で、茨城新聞に記事が掲載される予定になっているとの発言があった。

　　　　議題３．　平成２９年度事業計画について

　村上総務部長より、平成２９年度事業計画について提案があった。

　伊藤組織強化部長より、９月に、関東大会、東洋療法推進大会、マッサージ祭りは詰め込みすぎではないか、祭りは１０月にずらしてはどうかとの発言があった。

　祭りについては検討の結果、１０月の８日、１５日で山口先生の都合を確認することに決定した。

　平成２９年度事業計画案は承認された。

　　議題４．　平成２９年度生涯研修会の内容について

　奈良保険部長より、年間のテーマを決めるのはどうなのかとの発言があり、検討の結果、次年度はテーマにとらわれずにやることに決定した。

村上総務部長より、県医師会との友好関係を築く意味で、講師紹介依頼をするのはどうかとの発言があった。

米澤学術部長より、会員より、活法の講師について、無免許者は困るとの意見があったとの発言があり、検討した。実技等の講師依頼には細心の注意を図るべきとの結論を得た。

　米澤学術部長より、妊娠周産期のケアについての講演を聞きたいとの発言があり、講師の候補について検討した。

　伊藤組織強化部長より、症例報告会的なものをやってはどうかとの発言があった。

　仲澤会長より、鹿島支部の君和田先生の講演を依頼してはどうかとの発言があり、賛同を得た。

　１回午前は、医師会に講師紹介を依頼。女性アスリート関連、または、診療に東洋医学を取り入れている医師。

　１回午後は、テーピング㈱ニトムズ。

　２回　鍼灸マッサージ祭りの講演は山口先生

　３回午前　　君和田先生

　仲澤会長より、全鍼師会の杉田会長が勇退されるので、新会長を呼んではどうかとの発言があった。

３回午後　　全鍼師会会長

　伊藤組織強化部長より、日本鍼灸マッサージ協同組合のセミナーで聴いた、中小企業診断士による鍼灸マッサージ業の経営戦略の講演と、大高酵素の元取締役の健康についての講演は非常に興味深い内容だったとの発言があった。

　これまで出たものを交渉し、順番を決めていくことに決定した。

　　　議題５．　全鍼師会の代議員・選挙管理委員の選出について

　　仲澤会長より、次年度の全鍼師会の理事選挙に立候補を予定しているため、代議員に伊藤理事、村上理事、補欠に石川理事に立候補をお願いしたいとの発言があった。

　代議員選任については承認された。

　　　　議題６．　理事及び監事選挙の実施について

　仲澤会長より、奈良理事、赤坂理事より、来年度の理事の立候補をしないとの申し出があり、了承している、私も今季限りで理事長を退任するにあたって、理事にも立候補すべきではないと考えるとの発言があった。

　菊池広報部長より、今季限りで理事を退任したいとの発言があった。

　伊藤組織強化部長より、北川先生が立候補を考えているようだとの発言があった。

　新理事立候補者を募る件について、可能性がある候補者について検討した。

　選挙管理委員を選任する件について検討した。

　　　　議題７．　今後の事業について

（小委員会　監査会　平成２８年度第４回理事会　平成２９年度定時総会）

　小委員会を２月１９日、監査会、第４回理事会を３月５日、平成２９年度定時総会を４月２日に開催することに決定した。

　　　　議題８．　その他

　加倉井監事より、平成２６年１０月２６日付の茨城新聞の不正請求に関する記事の紹介があった。

　仲澤会長より、茨城県鍼灸師会設立６５周年記念式典に参加したおり、茨城国保連の支部長、実務担当者と話をした。今後は、目立った保険者には、さらに連携を深めるべきであると痛感したとの発言があった。

　奈良保険部長より、本会が提出するものについては信頼してもらっている印象がある。信頼関係を築くことは非常に大切なこと、今後ともより密に信頼関係を築いていく活動が必要との発言があった。

　仲澤会長より、国保連、医師会等の関係団体との信頼の構築は今後の重要課題として取り上げて欲しいとの発言があった。

　仲澤会長より、都道府県師会長会議で出た話題、会は高齢化等による会員減少もあり、若い人を取り込んでいくことについての話し合いをした。全鍼師会の定款を変えてでも学生の窓口を広げようかとの議論になったが、議論の結果、定款を変えるまではしなくても、都道府県師会でできることを工夫しようということで合意した。そういうことで茨城の場合、学生の取り込み、保険の信頼度を上げる、高い技術を持った施術者の技術指導等を踏まえた会の活性化ができるのかなと考えているとの発言があった。

　伊藤組織強化部長より、学生の取り込みを、なにを目的にするのか、学生会員としての会費収入を見るのか、会費は見ないで将来の会員育成の部分に主眼を置くのか。どういうアプローチをしたらよいのか。盲学校、筑波技術大に学生の数は少ない。東京都師会等と連携して情報交換し、学生が茨城に帰った時の受け皿になるような関係づくりのような形がよいのではないかとの発言があった。

（昼食・休憩）

　　　　議題８．　その他

　赤坂理事より、７０歳にして本会に１０年以上会費を払っていたものはシルバー会員として存続すると認識しているが、どうなのかとの発言があった。公益になってから、シルバー会員の制度はないことを確認した。

　仲澤会長より、以前は県から助成金が出ていた。県からの委託研修会を実施するための助成金、あるいは鍼灸マッサージ祭りを行うための助成金等を、要望として出してはどうかとの発言があった。

　伊藤組織強化部長より、１１月２５日に、公益法人としての県の立ち入り検査があり、石川財務部長、松本事務と対応したとの報告があった。指摘事項として

　「理事の就任承諾書」を作成し保存する

　会長員、銀行印の使用規定の作成と使用簿の記録

　理事になる資格を証明する書類を作成し保存する

等であった。

　議事終了

　議事録署名人　　理事　仲澤　進　　　（印）

監事　加倉井　弘　　（印）